
virgin road

星野詩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

virgin road

【コード】

N6023C

【作者名】

星野詩

【あらすじ】

委員会の演劇。それが全ての始まりだった……。もう引き返せないほど傷ついた。やり直せないほど傷つけた。この傷は、何のためにあるのだろうか。何のために、前へ進み続けるのか……。前へ進み続けるしかない想い。引き返せない。やめられない……。【私が本気で愛した人は、私を愛してはくれませんでした。】

始まりの兆し

岡を切り抜いた場所に、その学校はあった。

南学大学附属小学校。

古びた校舎からは、長年の歴史を感じる。もう、100年以上その学校はそこに建ち続けていた。

そんな学校より、もっともつと長生きの木がある。

校庭の目の前に立つ大きな楠木。第二次世界大戦中も、どんなときでも学校を守り続けていた木。

そんな木の周りには、放課のたびにたくさんの生徒が集まってきて、木登りをしたり、木のブランコに乗ったりする。

生徒はみんな、その木が大好きだった。

私もまた、例外ではなかった。

だけど、楠木なんか気にしていられないほどの大事件が起きたのです。

はたから見たら、何でもない事かもしれない。

だけどそれは、私にとって人生を左右する大事件だった。

そう、その事件が全ての始まりの兆し。

私や、私の周りの人に関わる大事件……。

たくさんの人を傷つけ、自分をも見失ってしまうほどの大事件の始まりでした……。

絶叫！キャスト決め

「やあだあ〜！！！！！」

古風ある廊下に、一人の女の子の絶叫が聞こえる。

それは、聞く人によれば悲鳴とも嘆きとも聞こえる声だった。その声の持ち主は、もうすぐ卒業を迎える六年生の神木奈緒かみきなおそして、ソレをなだめるのが保健の先生の井沢美保いざわみほ

「なあんで私が、そんな役なの!？」

「先生も、止めたんだけど・・・」

奈緒は、保健委員だった。今度行われる全校保健集会で、保健委員は演劇をすることになっていた。奈緒は、前から演劇に興味があったから、キャスト希望だった。そのキャスト決めで、もめているのだ。

「でも先生！この、五年生の田出たてって人と交換すれば・・・」

「なんだか、こっちの方が面白いからって・・・」

「誰が！！！」

奈緒の迫力に、押され気味の井沢先生は、言いくそつに口を開いた。

「・・・西田君。」

「つよ〜し〜!?!」

西田剛にしだつよし。保健委員の委員長で、奈緒とは喧嘩ばかりしていた。委員長として、演劇の全てを剛が決めていた。

「でも・・・おかしいでしょ!?!」

「いや・・・それが面白いみたい・・・で・・・」

「田出君は納得してるんですか!?!」

「ああ。うん。」

「そんなあ・・・」

「キャストやるなら、あの役だし・・・イヤなら、キャストは無理だけど・・・」

「・・・。。。」

キャストは、どうしてもやりたかった。

私は、絶対高校生になったら演劇部に入ると決めているから!!

演技をするのが好きだった。どうしても好きかは、わからないけど、違う人になると言う事が、楽しくて仕方なかったんだ。

「・・・わかった。やる。」

「本当!?!じゃあ・・・練習は明日からね!?!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6023c/>

virgin road

2010年12月18日18時12分発行